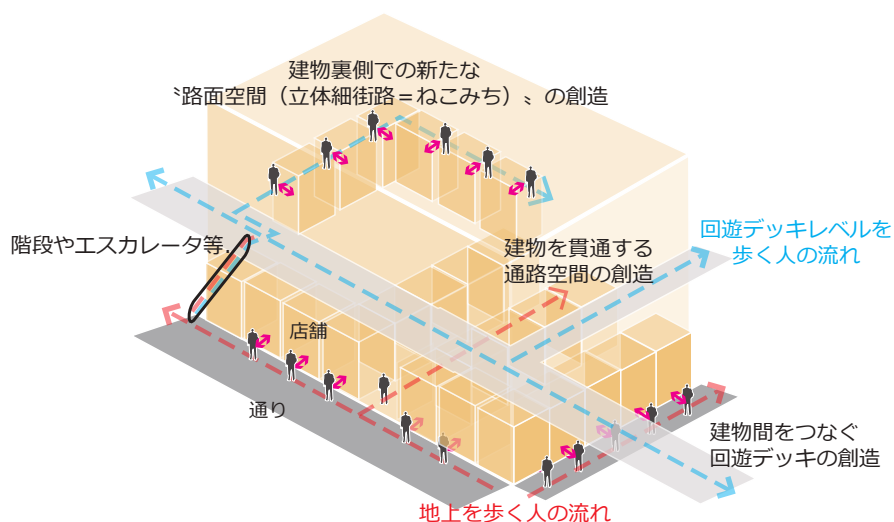


方針④ 建物の更新に伴って〈楽歩地区〉内の「細街路」を平面・立体に増やし繋いでいく

自由が丘の回遊環境を支える重要な基盤である細街路は、例えば街区再編等の際に無くしてしまうのではなく、次代に向けて発展的に拡充していくことで〈楽歩地区〉の魅力向上を目指していく。

具体的には、一定規模のビルでは、それぞれの建物をつなぐ回遊デッキ、建物裏側からのアクセスを可能とする「ねこみち」、建物を貫通する通路空間等を整備することで、立体的に街の回遊性を向上させ、街の隅々まで人が歩き回れるような街を目指していく。



個別の建替えや共同化を通して、建物同士をつなぐことにより、従来の街路に面する空間に加え、街区の内側や建物の隙間にも商業活動の場を設けていくことで、来街者による回遊の楽しさや滞留する面白さを増幅させていく。

方針⑤ 新たに生み出す歩行者空間や広場において 歩行者がふと足を止めるような取組みを日常化していく

女神まつりやマリクレールフェスティバルなど自由が丘を代表する季節ごとのイベントについては継続・発展させていく一方で、〈楽歩地区〉内において拡充する歩行者空間や広場等を活用して、日常的にそこかしこで歩行者がふと足を止めて、時間を楽しむまちを目指していく。

角を曲がると出くわすアートや音楽など各場所・各道路に関わる組織や団体による普段づかいの創意工夫によって、子供から高齢者、買い物客からビジネスマンといった多様多彩な街の利用者が生き生きと街を楽しむシーンづくりを目指していく。

アートギャラリー



ファッションショー



スポーツイベント



ベンチでの飲食・読書



まちなかピクニック



カリヨン／オープンカフェ



大道芸（パフォーマンス）



屋外フードコート



まちなかコンサート



方針⑥ 〈楽歩地区〉においては可能な限り街区間の地下空間での接続連携を図りつつ車両交通処理を行っていく

〈楽歩地区〉においては、一般車両や搬出入車両の出入りを抑制し、歩行者の安全な通行を確保していく。一定規模の建物については街区間の地下部で接続・連携する計画を目指していく。

方針⑦ 〈楽歩地区〉内の路面店舗は内部が伺える透過性や街路が交差するコーナーなど賑わいの設えを大事につくる

街歩きの楽しさの1つは沿道に立ち並ぶ店舗を吟味しながら探索することから、〈楽歩地区〉においては、路面店舗の外壁（ファサード）の透過性の確保、共同化した建物における道路側からの出入口の確保、街路が交差するコーナー部にぎわい創出などを目指していく。

沿道に面する商業店舗の外壁については、出来る限り透過性の確保を促すことにより、扱う商品を歩行者空間から楽しめるような環境を拡充していく。



コラム：〈楽歩地区〉を活かした今後の取組みに向けて 自由が丘のまちが守ってきた芸術の未来への継承

芸術とは文学、音楽、造形美術、演劇、舞踊、映画などの総称であり、一定の材料・技術・身体などを駆使して、観賞的価値を創出する人間の活動およびその所産であると定義されている(広辞苑)。自由が丘駅の前身である九品仏前駅が開設された 1927 年に自由教育の提唱者である手塚岸衛が自由ヶ丘学園を創設したことを契機に、手塚の知人である前衛舞踏家の石井獏が活動を始めた「自由が丘」というまちに様々な芸術家が集まるようになった。

小説家の石川達三、石坂洋次郎、三島由紀夫、随筆家の渋沢秀雄、美術家の岡本太郎、画家の東郷青児、日本画家の福田豊四郎、作曲家の山田耕作、伊福部昭、彫刻家の澤田政廣、写真家の金丸重嶺など多様な芸術家を受け入れた自由が丘は、「自由」が統制される戦時を経ながらも、芸術の遺伝子を守り続けている。

〔左〕 1951 年における
文化人会の懇親会
〔右〕 1961 年における
澤田政廣作「蒼穹」
の除幕式



音楽という分野では、1985 年に始まった駅前ステージでのジャズフェスティバルが、現在はジャズ・ステーションとして展開し、街の風物詩となっている。一方で、近年まちの成熟に伴い希薄化しつつある芸術の発信性を活性化する取組みとして、自由が丘の芸術家たちと関連深い東京藝術大学とのコラボレーションによる「アート&デザイン・プロジェクト」が展開されており、アートとデザインの視点によるまちの活性化への挑戦がはじまったところである。

まちを代表するイベントである
自由が丘ジャズ・ステーションの
前身であるジャズフェスティバル



アート&デザイン・プロジェクト
によるボードペインティング
パフォーマンス〈PLACE+〉



アート&デザイン・プロジェクト
による〈出合いの道〉



歩行者を主役とする〈楽歩地区〉づくりにあたっては、長い時間を経て受け継がれる芸術という分野に着眼発想していくことが大切である。